

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名		Harmony 寒河江			
○保護者評価実施期間		2025年 12月 10日		～	2025年 12月 27日
○保護者評価有効回答数		(対象者数)	32	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間		2025年 12月 10日		～	2025年 12月 27日
○従業者評価有効回答数		(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日		2026年 1月 16日			
○ 分析結果					
	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等		さらに充実を図るための取組等	
1	個別支援計画に基づいた専門的支援と、職員との共感的な関わりにより、保護者から「子供のことを十分理解している」「計画に沿った支援が行われている」と高い信頼を得ている。	経験豊富な職員がアセスメントを行い、個々のお子さまに合わせた計画を作成・実施。配置職員全員で日々のミーティングなどに支援内容を検証・共有している。		支援計画の進捗と効果を、保護者様に対してより具体的な言葉や事例で伝える方法を工夫する（面談時の資料など）重要情報は複数経路で繰り返し発信していく。支援の効果を保護者に伝える具体的事例の言語化を促進し、成長をより分かりやすく共有、お伝えしていく。	
2	事業所移転による新しい環境が、「広くなって過ごしやすくなった」と評価され、物理的環境における強固な基盤ができた。	安全で清潔な空間を維持するため、日常的な整理整頓と換気、定期清掃を徹底している。 活動内容によってはすみ分けをしている。		この好評価を礎に、空間の機能性（静養スペースの確保、活動ごとのゾーニング等）をさらに高め環境による支援を強化する。	
3					
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等		改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等	
1	情報伝達・周知の不全がある、バリアフリー設備、苦情対応体制、訓練内容など、多くの事業所の取り組みについて保護者から「わからない」という回答が突出。	・移転後の新しい環境や体制についての体系的な周知が不十分であった。 ・情報提供の方法が一律の伝達方法に依存し、多様な保護者様のライフスタイルに合わせた手立てが必要。 ・評価結果や業務改善のPDCAサイクルへ工夫が必要。		・保護者の利便性と職員負担軽減のため、連絡の基盤をLINE等へ移行し、双方向の即時連絡を可能にする。 ・重要情報は文書、LINE、面談で繰り返し伝達。移転に伴う緊急避難場所等は改めて全戸に説明する。 ・評価結果や改善タスクを全職員で共有し進捗を管理する。	
2	保護者間・地域社会との接点の脆弱さ「父母の活動支援」は保護者評価で最も低い評価の一つ。 地域交流についても、事業者評価で「無回答」「どちらとも」が多い。	・保護者様主導の交流を促す恒常的なプラットフォームが不足している。 ・地域との協働について職員間で具体的なイメージや方針が共有しにくい難しさがあった。 ・「地域協議会への参加」で得られた情報が事業運営に十分に還元される工夫が必要。		・少人数・オンライン形式も含めた気軽な保護者懇談会を企画、検討する。 ・地域施設への作品展示、施設見学の受け入れなど、実現可能な小さな協働から開始し、関係を醸成する。 ・地域協議会への参加者は情報を全職員で共有・活用する仕組みを作る。	
3	支援の継続性と密度に関する課題「平日の活動時間が短い」「支援者がよく変わる」という具体的な不満が保護者から寄せられている。	・学校終了後の限られた時間内で、プログラムの充実とお子さまのリラックスのバランスに課題がある。 ・職員の異動により、お子さまとの関係性構築や支援の一貫性が損なわれるリスクがある。		・活動の流れと内容をお子さまにあわせて再設計する。 ・職員の引継ぎ事項を標準化された様式で文書化し、担当変更時も支援方針が継承される体制を強化する。	

保護者向け 放課後等デイサービス評価表（集計結果公表）

一般社団法人青葉の杜 Harmony寒河江

配布：32枚 回収：23枚 回収率：72%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	無回答	合計	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	5			23	◇新しい建物になり、広くなって過ごしやすそうです。 ◇移転に伴い活動スペースが増え、また個々に合わせた活動が可能となりより良いと思う。	ご認識の通り、移転により活動スペースを拡大いたしました。今後とも、お子様が安全にのびのびと活動できる環境を維持・改善してまいります。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	7			23		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	11		1	23	◇分らない。 ◇新しい事業所になってからの案内を見たことがないため。	お知らせが行き届かず申し訳ございません。 バリアフリー設備（スロープ）は整備済みです。改めて施設案内図を含めた資料を作成しご案内いたします。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 i が作成されているか	22	1			23		
	5	活動プログラム ii が固定化しないよう工夫されているか	22	1			23		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	10	4	2	23	◇わからない。 ◇特に希望せず。	・交流の機会に関する情報提供が不足しており、申し訳ございません。 現在の取り組みおよび今後の計画について、「おたより」や行事予定表にてお伝えしてまいります。 ・貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。交流プログラムへのご参加はあくまで任意です。お子様とご家族のご意向を最優先に、無理のない支援を心がけてまいります。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23				23		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	5			23	◇送迎になったので受け取りが祖父になり迎えに行っていた時よりは情報は少なく感じています。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。送迎時の申し送りやブログ等でお伝えしておりますが、ご希望があれば保護者様ご自身との直接の引き継ぎも対応いたします。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21		2		23		助言、支援についてのご指摘に関しましては職員一同、研修や日常的なPDCAサイクルを通し、ご利用者様に必要なことをお伝えできるよう努めてまいります。
保護者への説明	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	8	10	1	23	◇わからない。	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	8	2	1	23	◇わからない。	苦情対応窓口および手順については、サービス開始時にご説明し、契約書面にも明記しております。改めて、事業所内の掲示および文書での周知を徹底してまいります。

明 等	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	4	1		23	多数の皆様から「はい」と評価をいただき感謝いたします。一方で「どちらともいえない」「いいえ」という貴重なご意見もいただいております、現状にご不満やご不安を感じていらっしゃる方がいることを重く受け止めています。この結果を真摯に受け止めご家庭とのコミュニケーションを、より確実でわかりやすいものに改善してまいります。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	6			23	◇わからない。 毎月の活動予定とブログの発信、自己評価結果は揭示報告しておりますが、周知方法の見直しを検討いたします。ホームページでの配信を含め、より確実に情報が届く方法を導入、周知してまいります。
	14	個人情報に十分注意しているか	21	2			23	
非 常 時 等 の 対 応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	6	1	1	23	◇事業所移転による緊急避難場所とは？ 移転に伴い、緊急避難場所は「南地区公民館」（事業所から徒歩1分）に変更しております。全マニュアルの最新版をまとめ、緊急避難場所を含め、改めて周知、説明いたします。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	5	1		23	◇わからない 年2回以上の防災訓練を実施し、記録を残しております。次回開催は3月27日に予定しております。
満 足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17	6			23	
	18	事業所の支援に満足しているか	18	4	1		23	◇時間が短くあまり活動時間が無い（平日）長期休みは良いが。 ◇異動が多いのか支援者が良く変わる印象。 貴重なご意見ありがとうございます。時間については限られた時間内で効果的かつ充実したプログラムを提供できるよう、活動の流れと内容を検討いたします。支援者の移動につきましては、職員の定着率向上を組織的な課題と捉え、継続的な支援が提供できる体制づくりに尽力してまいります。引き継ぎの徹底にも努めます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されている。

事業者向け 放課後等デイサービス評価表（集計結果公表）

一般社団法人青葉の杜 Harmony寒河江

配布：6枚 回収：6枚 回収率：100%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	無回答	合計	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6				6	
	2	職員の配置数は適切であるか	3	1	2		6	適正な基準配置で人員配置を行っております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3			6	新しい事業所となりどうしたら安全かを考えながら改善につなげています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1			6	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6				6	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1			6	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	1		6	第三者評価は実施しておりませんが自己評価の結果を分析し具体的な改善を策定いたします。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6				6	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				6	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1			6	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6				6	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2			6	固定化することでご利用者様が安心して活動に取り組むことが出来る所もあります。一方でいろいろな経験ができるようプログラム内での工夫もしていきたいと思います。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6				6	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				6	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6				6	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6				6	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6				6	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6				6	
関係機関や保護者	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5	1			6	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6				6	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6				6	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3		1	6	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2			6	多くの職員が情報共有を実践していると認識しています。一方で、個人情報となり厳重な管理下におかれる必要もあるため、個人ファイルによる管理の周知を徹底いたします。必要な情報の漏れを防ぎ、全職員が統一された方法で円滑な連携を行える基盤を整えます。

保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1		1	6	事業所内研修等、関係職員が共通の手順で情報を整理・提供できる体制を構築します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2		1	6	保護者様を通じて専門機関との連携や助言の受領は行われているものの、その内容を組織全体で十分に共有・活用していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	3		6	交流の目的を再確認し、実施可能なことから具体的な計画を立て、推進します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	1		6	定期的な報告会で、得られた情報やネットワークを事業所全体で共有・活用します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6				6	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3			6	支援計画を基に職員全員が保護者様に情報提供と参加の呼びかけを行えるようにします。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6				6	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6				6	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	1		6	大規模な「会」ではなく、既存のイベント内で自然な会話が生まれる「ゆるやかな場」を意図的に設けることから始めます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				6	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2	1		6	発行方法の柔軟化（紙面での配信等）と、「読みたくなる」中身の充実の2点で改善を図ります。
	35	個人情報に十分注意しているか	6				6	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				6	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	3		6	パンフレットの地域設置や地域施設への作品展示など、実現可能なことから地域理解を進めます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	3			6	マニュアルは策定済みですが、保護者様に十分説明されているとは言い難い状況です。職員参加型の研修・訓練を通して、理解度を確認します。保護者様へは、お便りを配布し、周知の徹底を図ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6				6	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6				6	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1			6	身体拘束が必要なお子様のご利用が無く必要となった際の説明が行われているか分からなかったとのご意見がありました。身体拘束は極めて重大な決定であるため改めて全職員で研修を実施し、全員の理解と実践を行います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2			6	医師指示書に基づく対応は徹底されているとの認識が強いものの、一部に認識の曖昧さが見られます。アレルギー対応の「見える化」を推進し、エビデン研修等を全職員が受講する体制とし、対応への確信を全員で高めます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6				6	